



航空気象群司令兼府中基地司令 金野 浩子 1等空佐 着任



令和五年二月二十四日(金)、第三十二代航空気象群司令兼ねて第三十八代府中基地司令として、金野 浩子 1等空佐が着任されました。慰霊碑で献花された後、着任式において、「今日より全国で気象情報の提供の任務についている各気象隊の隊員を含め航空気象群の一員として皆さんと一緒に勤務できることを非常に嬉しく光栄に思います。」

自衛隊は、どんな組織や機関よりも、最も国民から信頼されている組織です。これはある新聞会社が調査して出した結果で、間違いありません。そして航空自衛隊は唯一日本の空を守る組織です。さら

に我々航空気象群は、航空自衛隊の活動に不可欠な気象情報の提供を任されています。航空自衛隊の特徴として、機能が細分化されて、その一つが欠けても航空自衛隊の任務を遂行することはできません。そして、その機能の一つ一つ、これを支えているのは皆さんです。皆さんが自分に任された目の前の業務を当たり前に確実にこなしてくれているからこそ初めてそれぞれの機能が発揮され、航空自衛隊の任務が遂行されています。我々、航空気象群はまさにその大きな機能の一つである気象情報の提供と基地業務を担っていますが、それ自体が隊員の皆さんが日々、目の前の業務を確実に遂行するということから支えられています。これらを踏まえて、私から皆さんへの指導方針は「誇り」とします。航空自衛隊であること、航空気象群の一員であること、それがら日々皆さんが任されている業務の一つ一つに責任を持ち、自分がしっかりと作っていること、この組織を支えているという誇りを持ってください。その「誇り」を基盤として、司令官の要事項である「変化」「挑戦」「継承」これに取り組んでいく必要があります。私は今、ここに立ち、航空気象群司令として皆さんにこうしてお話ができます。

出身期別：防衛大学校第40期
出身地：静岡県
略歴：平成20年3月 航空幕僚監部装備部補給課
平成22年4月 防衛大学校訓練部次席指導教官
平成24年3月 第1航空団整備補給群修理隊長
平成25年8月 航空幕僚監部総務部総務課
平成28年8月 航空幕僚監部人事教育部援護業務課計画班長
令和元年6月 航空幕僚監部人事教育部人事計画課人事計画調整官
令和3年3月 航空幕僚監部人事教育部人事教育計画課人事教育計画調整官
令和3年4月 第9航空団整備補給群司令
令和5年2月 現職

きるということに非常に喜びを感じると共に「誇り」をもって望んでいます。どうか皆さんも誇り高き航空気象群の一員として、業務をしっかりと着実にこなして欲しいと思います。

そして、もう一つ、隊員が笑顔で毎日活き活きと勤務していけるような航空気象群をしっかりと作っていきたいと思います。「誇り」を持った一人一人、自分以外も誇りを持った一人であるから、お互いに尊重し合い、助け合い、団結して、一人一人が活き活きと部隊で勤務できるように一人一人の力で作って行く必要があります。是非一緒にそのような航空気象群にしていきたいでしょう。これから宜しく。」と訓示されました。

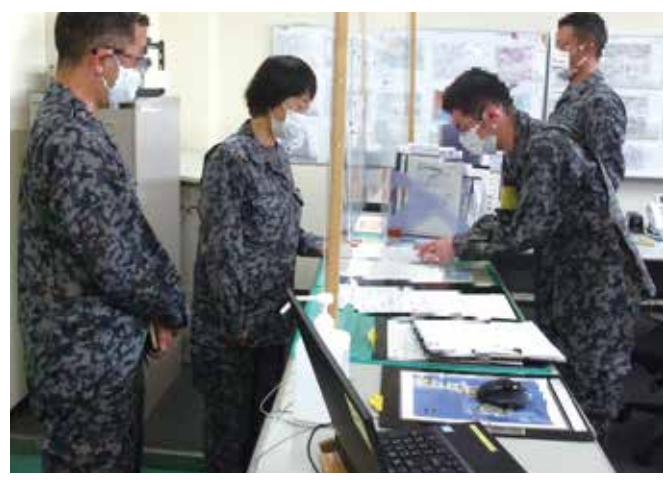
航空気象群司令 初度視察 美保

令和五年四月十九日、前日の悪天候の名残を見せる天候の中で、美保気象隊は航空気象群司令初度視察を受察しました。

本視察では高尾山分屯基地を視察後、美保気象隊を視察されたため、時間的には非常に過密なものでありましたが、群司令は細やかに部隊を視察されました。

美保気象隊に到着された後に気象隊長との懇談、安全褒賞授与式、そして気象所内を視察し、安全褒賞授与式の折には、これまでの美保気象隊の諸先輩方の培った安全に対するの霧囲気を継承していくこと、これからの安全に対する意識の一つとして「初めて、変化、久しぶり」の3日を挙げられ、未だに初めて多い身として、意識していきたくと思いました。

気象所内の視察では、初の観測業務実施部隊の視察であったため、パイロットへの支援の仕方やリーダー観測について細やかに質問をされ、気象支援業務についての理解を深めていただく機会となりました。



また、懇談会においては隊員一人一人から話を聞かれ、隊員毎の心情把握にご配慮していただきました。本視察を受け、群司令の配慮あるお人柄が印象に残り、今後の時代による変化の中でも、変わらず任務を遂行できるよう決意を新たにしました。

(工士長)

航空気象群司令 初度視察 静浜

「静浜気象隊は、去る五月二十三日に航空気象群司令の初度視察を受察しました。

視察では、訓話や各階級に分かれた隊員懇談などに時間を割き、群司令の指導方針である、「一人一人が航空自衛隊の任務を支えているという誇りを持つ

ち、変化し、挑戦し、継承に取り組む」について、分かり易く話され、隊員からの質問には丁寧に回答して下さるなど、隊員一人一人と向き合い、会話をされました。

懇談は時間が足りないくらい大いに盛り上がり、また、当日は雨模様となったことや静浜気象隊員の「笑顔」効果が見られたように雨上がり、一時に陽が差す天気となりました。

(H士長)



オーストラリアは アバロンにて

中枢

世界中の航空機が一
堂に会する南半球最大
級の軍事エアショーが
令和五年三月オースト
リアのアバロンにて
開催されました。二年
に一度開催されるこ
のイベントに日本は
二〇一三年から参加し
ており、今年も第2輪
送航空隊のC-2輸送
機と入間修武太鼓が参
加しました。この貴重
な機会に私も広報カメ
ラマンとして参加し、
エアショー全体、C-
2の機内及び飛行展示
の様子、C-2と入間
修武太鼓のコラボレー
ション等を撮影させて
いただきました。特に、
運航隊長が他国軍の
方々と相互に機上研修
等を行う防衛交流の様
子を撮影した際は、機
内細部まで同行させて
いただき、とても貴重
な経験ができました。

私もジェスチャーを交
えることで少し会話が
できた時には、人生初
の海外で自分の意志が
相手に通じたことを非
常に嬉しく感じるとも
に英会話の重要性を
改めて感じました。

今回の任務は、不安
要素満載で挑戦しまし
た。優しく対応して
いただいた各国軍の
方々や共に派遣された
同僚隊員のおかげで、
毎日が非常に充実し、
多くの貴重な経験をさ
せていただきました。

海外任務に興味のある
方は是非挑戦してみ
てください。そして、南
半球への任務に赴く際
は、流れ落ちる水面の
渦の回転方向を確認し
てみてください。・・・
が心残りです。



(T3曹)

松島気象隊長 ラストフライト

松島

令和五年四月十日
(月)、松島気象隊長の
M3佐がラストフライト
を迎えました。松島
気象隊の歴史で、操縦
者が気象隊長を務める
のは初めてのことであ
り、気象隊としてもラ
ストフライトというイ
ベントを執り行うのは
初めての経験でした。
当初は四月七日(金)

を予定していましたが、
が、どう考えても天候
が悪く、ダイバート(目
的地外着陸)する可能
性も高かったため、日
を改めることとしまし
た(ある意味、気象隊
長のラストフライトと
して相応しかったのか
もしれませんが・・・)。
そして迎えた四月十
日(月)、天候は晴れ
で懸念するような天候
の変化もなく、ラスト
フライトに相応しい日
となりました。無事に
フライトを終了し、着
陸後は様々な方々に迎
えられ、今までの経験
や共に飛行安全に努め
た仲間達について熱く
スピーチして頂きまし
た。その後は、関係者
との記念撮影、恒例の
水かけを行い、松島気
象隊初の操縦者による
隊長は、フライトを終
了しました。退官後は、
お身体を大切にされ、
更なる飛躍を祈念した
と思います。



球春到来

千歳



令和五年三月二十九
日及び三十日、我が千
歳気象隊は、プロ野球
北海道日本ハムファイ
ターズの「2023 PLAY
BALL~HOKKAIDO
BALLPARK F VILLAGE
オープニングセレモ
ニー」に参加するプ
ルーンパルス展示飛
行の気象支援を実施し
た。

新球場「エスコ
ンフィールド北海道」は、
これまでの球場とは異
なり、場内にホテル、
温泉にサウナ、クラフ
トビルレストラン等
が併設され、どれも野
球観戦を楽しみながら
使用することができる。
世界初の球場である。
そのため、全国からも
注目が高く、当日のセ
レモニー会場は、各局
の報道陣が集まり、有
名芸能人がゲストとし
て参加するなど、球場
周辺は大勢の観客で埋
め尽くされ、交通がマ
ヒするほどお祭り騒ぎ
となっていた。また、
会場では北部航空音楽
隊の本格的な演奏が行
われ、セレモニーをよ



り一層盛り上げて
いた。
そんな状況の中、気象隊は観客
から離れた場所
TACMETR
を展開し、会場の
気象観測及び通報
を実施した。三十
日の本番当日は、
風が冷たく吹き付
けていたものの、
飛行に影響するよう
な雲はなく快晴に近い青
空であった。我々は、
地上統制官に最新の観
測値を通報し、展示
飛行は予定通り実施さ
れることを聞くと、い
よいよだと胸が高まっ
た。セレモニーは大詰
めに入り、開場のテー
プカットが行われた直
後の十六時ジャスト、
西日を浴びて閃光のよ
うに輝く六本のスモ
ークが球場上空を駆け抜
けていった。その瞬間、
大歓声が沸き起こり会
場のボルテージは最高
潮を迎えた。ブルーイ
ンパルスの展示飛行は
大成功に終わると同時

に、千歳気象隊はその
一翼を担い任務を完遂
することができた。
球場を離れる際、開
幕戦に訪れる大勢の観
客の表情が明るく楽し
そうだったのがとても
印象的であった。北海
道は、長い冬がようや
く終わり、これから春
を迎えようとしてい
る。先が見えなかった
コロナ禍も出口が見え
てきた。令和五年度は、
皆が希望に溢れ活気に
満ちたものになるよう
な気がした。これから
「春」が来るのが楽し
みである。

嘉手納基地 現地訓練を終えて

那覇

令和五年四月二十二
日、那覇気象隊は中樞
気象隊員二名とともに
嘉手納基地に赴いた。
我々は、嘉手納基地に
てTACMETRの
展開訓練を実施すると
ともに米軍との交流を
深め、現地で展開訓練
を実施して自衛隊の広
報活動に努めた。本訓
練の経緯は、嘉手納基
地所属の気象職域の米
空軍の隊員から招待が
あり、九年ぶりに開催
された「嘉手納アメリ
カフェスト2023」
において那覇気象隊の
TACMETRを展
開する運びとなり実現
した。

米軍との関係が長期間
途絶えていたが、今回
を契機に日米交流を再
開することができたこ
とは、那覇気象隊にと
って喜ばしいことで
あった。私自身も、非
常に良い経験となった

(K十長)



静浜基地航空祭 (T-7Jr)

静浜

関わりたいたいという強い思いや、バイクが好きで入隊前から乗ってお手や歓声に安堵の気持ちと達成感を得ることができ、航空祭を通じて基地広報に微力ながら貢献できたかと思えます。

守られながら、無事に展示を終えたときの拍手や歓声に安堵の気持ちと達成感を得ることができ、航空祭を通じて基地広報に微力ながら貢献できたかと思えます。

力に改めて感謝申し上げます。(N士長)



私は、令和五年五月二十八日に開催された静浜基地航空祭に、T-7 Jrのパイロットとして初参加しました。

T-7 Jrとは、T-7を模した自動二輪車であり、航空祭などのイベントで展示走行を行っています。

今回参加したのは、静浜基地所属の隊員として積極的に航空祭に



支援班長を終えて

築城

私は、令和四年三月六日から同年七月十六日まで、第二十四期自衛官候補生課程の支援班長として、航空教育隊で臨時勤務に就きました。

支援班長勤務を通じて、教育の大切さや重要性を身に染みて感じ、今の私があるのは、

下さった皆様、そして、支援班長に行く機会を与えて下さった皆様に心から感謝しています。ありがとうございました。(K3曹)

大変だったことは、自衛隊のことを知らない学生たちに、一から自衛官として必要な知識や技能を教えたことです。課程中は勉強をしながら学生に教育をしていく毎日、訓練射撃や行進露営、戦闘訓練等では厳しい指導

が成長していく姿を実感できたときは、嬉しく思いますが、達成感を味わうことができませんでした。また、卒業時には、「班長が班長で良かったです。」「班長のような自衛官になりたいです。」という言葉をも



最上級曹長認証式 (Chief Recognition Ceremony) に参加して

横田



御家族と共に職場の同僚が祝福する式典です。式典は、太平洋空軍楽隊のバンドによる演奏に迎えられ、最上級曹長及び准空尉によって編成されたサーベル隊の作るアーチの下を、



証者として招かれまし。最上級曹長認証式とは、米空軍下士官階級における最上位に位置する最上級曹長昇任候補者と、空自では准空尉昇任者を皆で祝うとともに、当該候補者及び昇任者の自覚を促し、これからの活躍を

越したコミュニケーション能力と、誰からも愛され慕われる人柄に、日米を超えて、多くの仲間の信頼を得ていることを肌で感じることができました。また、御家族が参加することによって、奥様と御令嬢のY准尉に対する尊敬の念はより一層強まったのではないかと、とても羨ましく感じました。

(I2曹)

令和五年三月十日、横田基地において、米空軍及び航空自衛隊の最上級曹長認証式(RC)が大勢の招待者、御家族の見守る中、盛大に執り行われました。今回、横田気象隊准曹士先任であるY准尉が、栄えある被認

証者として招かれまし。最上級曹長認証式とは、米空軍下士官階級における最上位に位置する最上級曹長昇任候補者と、空自では准空尉昇任者を皆で祝うとともに、当該候補者及び昇任者の自覚を促し、これからの活躍を

証者として招かれまし。最上級曹長認証式とは、米空軍下士官階級における最上位に位置する最上級曹長昇任候補者と、空自では准空尉昇任者を皆で祝うとともに、当該候補者及び昇任者の自覚を促し、これからの活躍を



テレビ山 mix 取材

防府



防府気象隊は令和五年四月十七日に、テレビ山口の情報番組『mix』の取材を受けました。取材内容は主に予報検討会、観測班業務、地上天気図記入・解析、TACMET

Rの展開といったものでした。私は地上天気図の記入要員として取材を受けました。勝敗は戦う前に決する、と言いますが私の取材に向けた準備は夜勤中に「解析用の地上天気図」を記入することから始まりました。お料理番組でよくある「一晩寝かしたものがこちらです。」というアレです。極東天気図の記入は決して楽な作業とは言えず、「一晩寝かしてほしいのはこっちのセリフだ。」



このテレビ取材で少しでも気象隊の活動を知ってもらえればうれしいです。(Y1士)

